

記入例

様式第 3 号（第 3 条関係）

申請品概要書

1 申請品の概要

(1) 希望小売価格（仕様等が複数ある場合には、それぞれ記入）		
① ○○○○○	価格：	5 0 0 円
② ○○○○○ (△△△味)	価格：	5 5 0 円
③	価格：	円
(2) 生産の現状（生産地、生産方法、原材料等について記入）		
※商品又は製品が、どこかの生産地でどのような原材料を使用して、どのような工程で製造されているか、等		
(3) 販売の現状（販路、販売場所等、販売の現状を記入）		
※自店舗の店頭販売、スーパー○○で販売、インターネット（自店 HP 等）販売、等		

(4) 申請品の概要（申請品の機能、内容、特長等をわかりやすく記入）

※商品又は製品が、他の同種商品又は製品と比較してどのような特徴があるか、どのような機能（食品であれば味、効能等）があるか、等

2 申請品の販売実績・計画

区 分	2 年前 〔5 年度〕 (実績)	1 年前 〔6 年度〕 (実績)	当年度 〔7 年度〕 (見込)	次年度 〔8 年度〕 (計画)	(単位)
販 売 額	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	(千円)

3 申請品の認証基準への適合性

(1) 養老町特産ブランド認証事業の基本理念への適合

申請品が、「養老町ならではの魅力ある商品又は製品」にどのように適合しているかを具体的に記入
(参考) ※「新生養老まちづくり構想」より抜粋 <u>地元の食材等を生かした名物・土産物の開発・販売戦略の策定</u> 地元の食材（米、牛肉、馬肉、猪料理、霊水など）を使って、養老で昔から食べられていたもの、この地でしか味わうことのできない食（ご当地グルメ）を発掘・クローズアップし、新しい名物・土産物として売り出すための販売戦略を策定します。

(2) 認証基準への適合

以下の認証基準から、適合していると思う基準の番号に丸をつけ、適合していると思われる理由を記入ください。

なお、認証には、認証基準のうち2つ以上を満たしていることが条件となります。

番 号	理 由
1	基準①：養老町ならではの製法又は技術により生産されること。
	(理由) 例)・養老町内で製造されている。 ・養老町の〇〇を損なわない独自の〇〇な技術・製法を取り入れている。
2	基準②：養老町ならではの素材を原材料として生産されること。
	(理由) 例)・養老町の〇〇という素材を使っている。
3	基準③：養老町ならではのアイデア又はこだわりがあること。
	(理由) 例)・養老町を連想できるような見た目を作り出している。 ・養老町の〇〇を活かした製法により、他にはない養老町の新たな特産品となる。
4	基準④：機能性、外観又は味に優れる等他に誇れる高い品質を有していること。
	(理由) 例)・〇〇という認証を受け品質の保証は可能。 ・〇〇の製法により賞味期限が長くとれ、お土産に適している。

5	基準⑤：安全で安心して消費することができ、かつ、環境に配慮されていること。
	(理由) 例) ・環境に配慮した〇〇の素材を使用している。 ・原材料など町内産にこだわっている。
6	基準⑥：養老町にちなんだ伝承、物語、取組又はエピソードを有していること。
	(理由) 例) ・養老の〇〇という伝承に基づいた商品となっている。

(3) 申請品が該当する法令基準、業界での製造基準の名称等を記入ください。

該当する法令基準、業界での製造基準の名称等	
法令基準	例) ・食品衛生法
	・ 不当景品類及び不当表示防止法
	・ 食品表示法
製造基準	例) ・菓子製造業
	・ 飲食店営業